

## 中部運輸局自動車交通部

平成30年 3月28日

中部運輸局自動車交通部  
 旅客第一課 白木、猪飼  
 TEL:052-952-8035

## 『コミュニティバス等実態調査』の集計結果について

中部運輸局では、管内（愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、福井県）の市町村にご協力いただき、コミュニティバス（市町村運営バス）の実態に関するアンケート調査を毎年実施しています。このたび、平成28年度の調査結果を以下のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

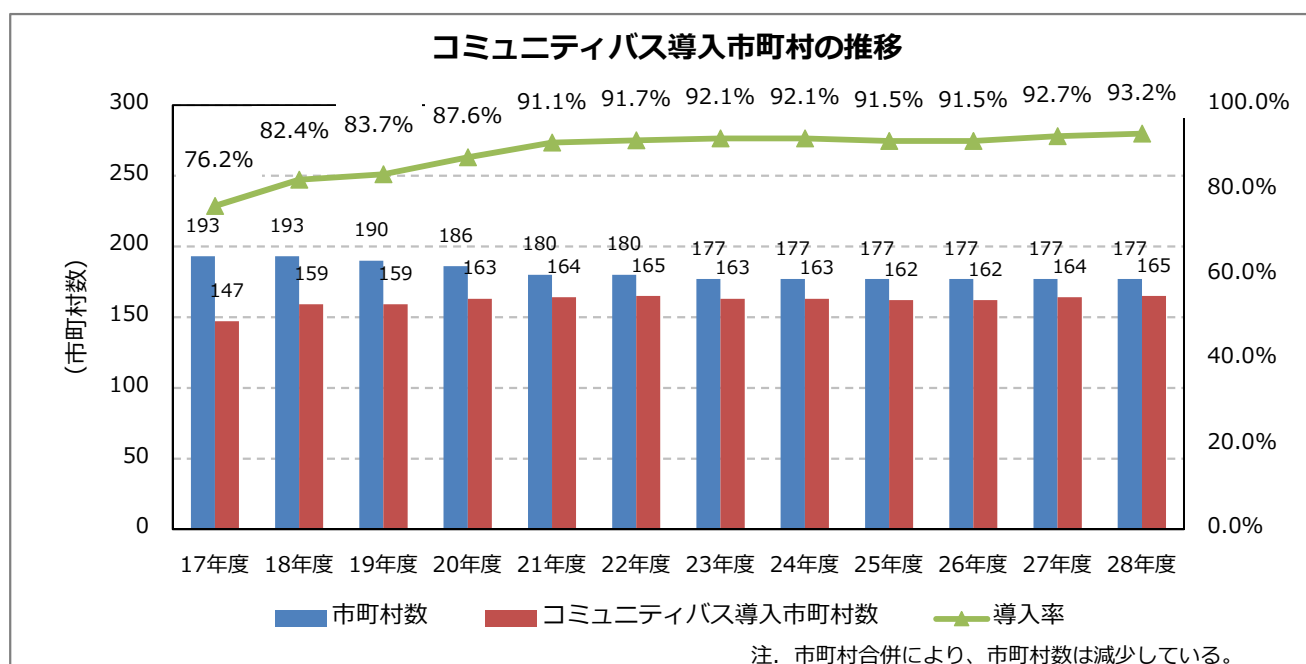
## 調査結果のポイント

※平成29年3月末日現在の統計

- ・コミュニティバスを運行する市町村は全体の93.2%。
- ・コミュニティバスの輸送人員は微減。
- ・均一運賃に比べ、ゾーン制・対距離制運賃は収支率が高い傾向にある。
- ・1人1回当たりの輸送コストは上昇傾向にある。
- ・運行経費の8割近くを公費で賄っている。

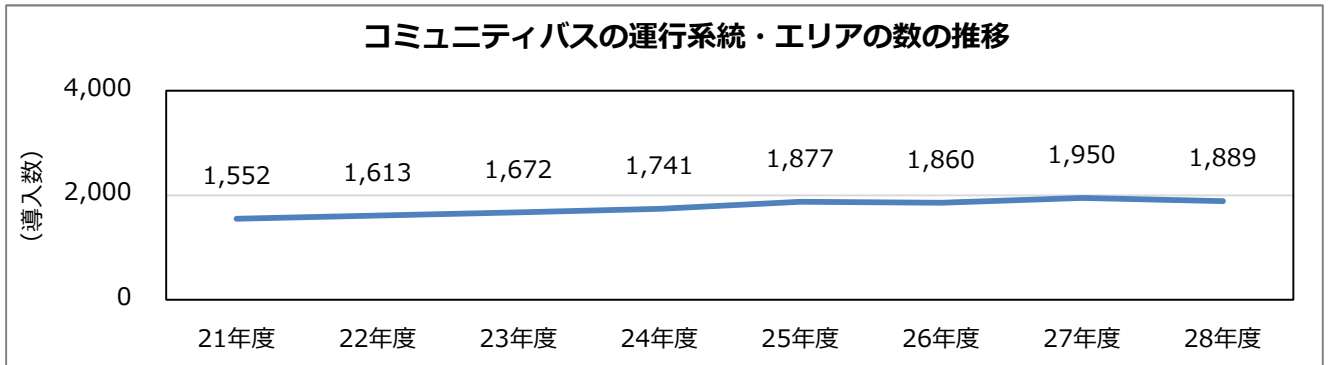
## ① コミュニティバス導入市町村

コミュニティバスは、中部運輸局管内177市町村のうち165の市町村において導入されており、93.2%と高い導入率となっている。



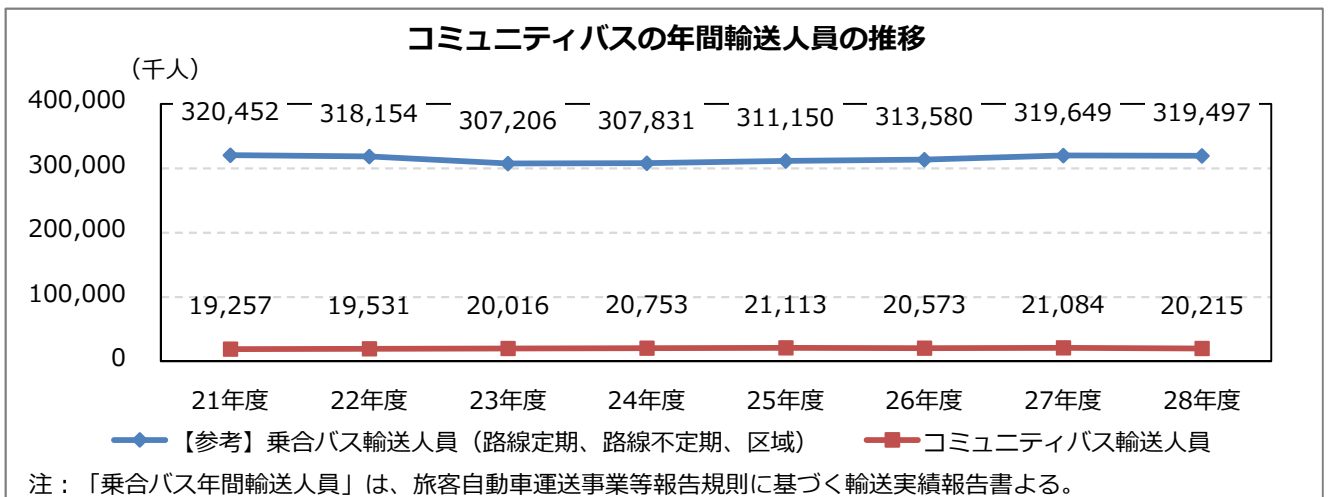
## ② 運行系統・エリアの数

平成28年度末におけるコミュニティバスの運行系統・エリアの数は、管内合計で1,889となり、対前年度比で3.1%減少している。



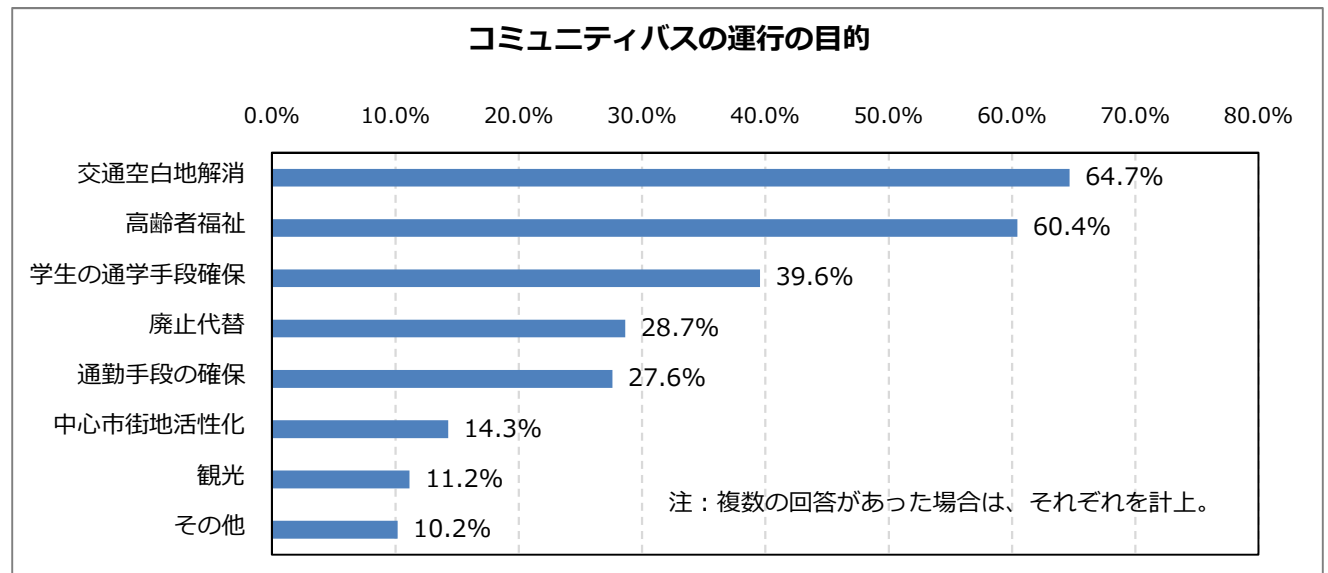
## ③ 輸送人員

平成28年度のコミュニティバスの輸送人員（中部運輸局管内合計）は20,215千人で、対前年度比で4.1%の減少となった。



## ④ 運行の目的

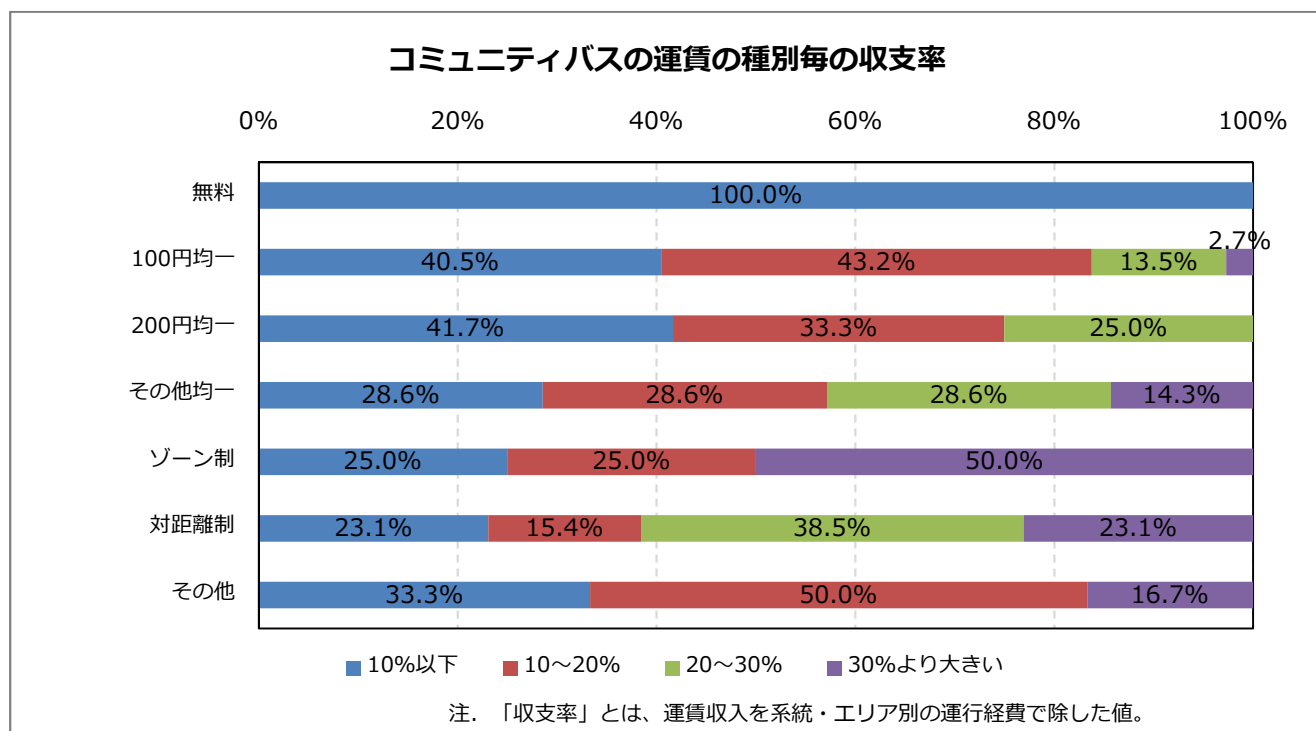
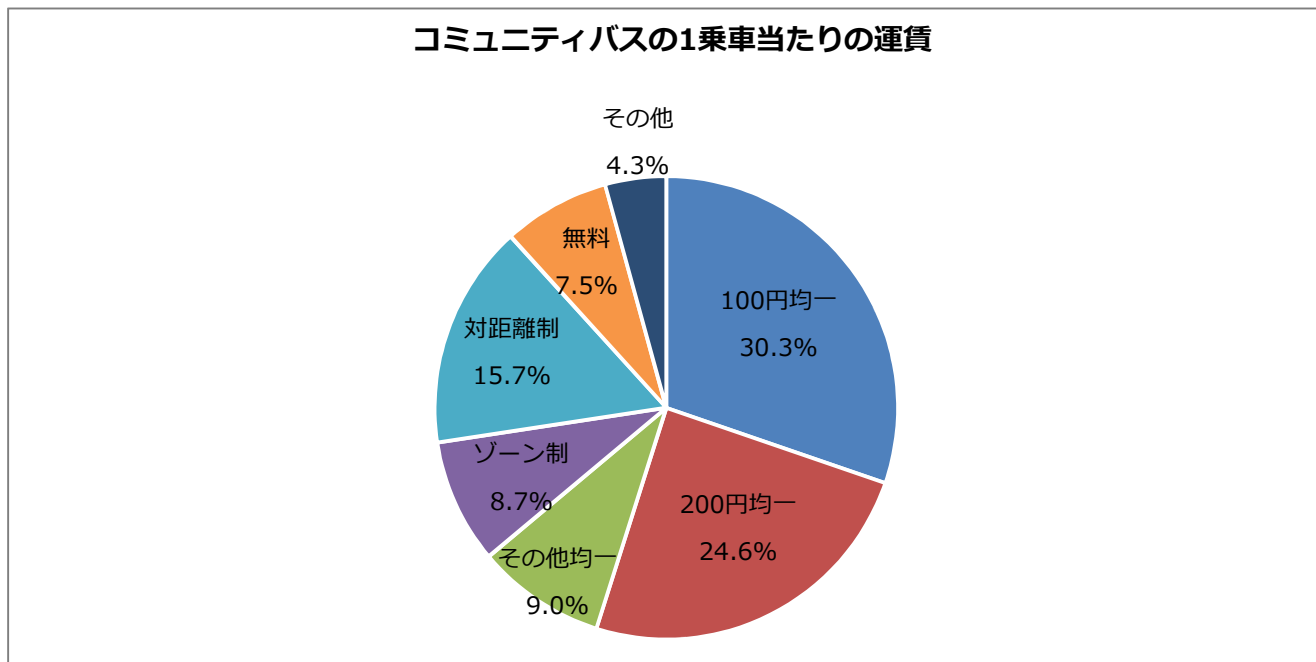
コミュニティバスの運行の目的は、「交通空白地の解消」、「高齢者福祉」など、住民の移動手段を確保することを目的とする割合が高くなっている。



### ⑤ 運賃と収支率

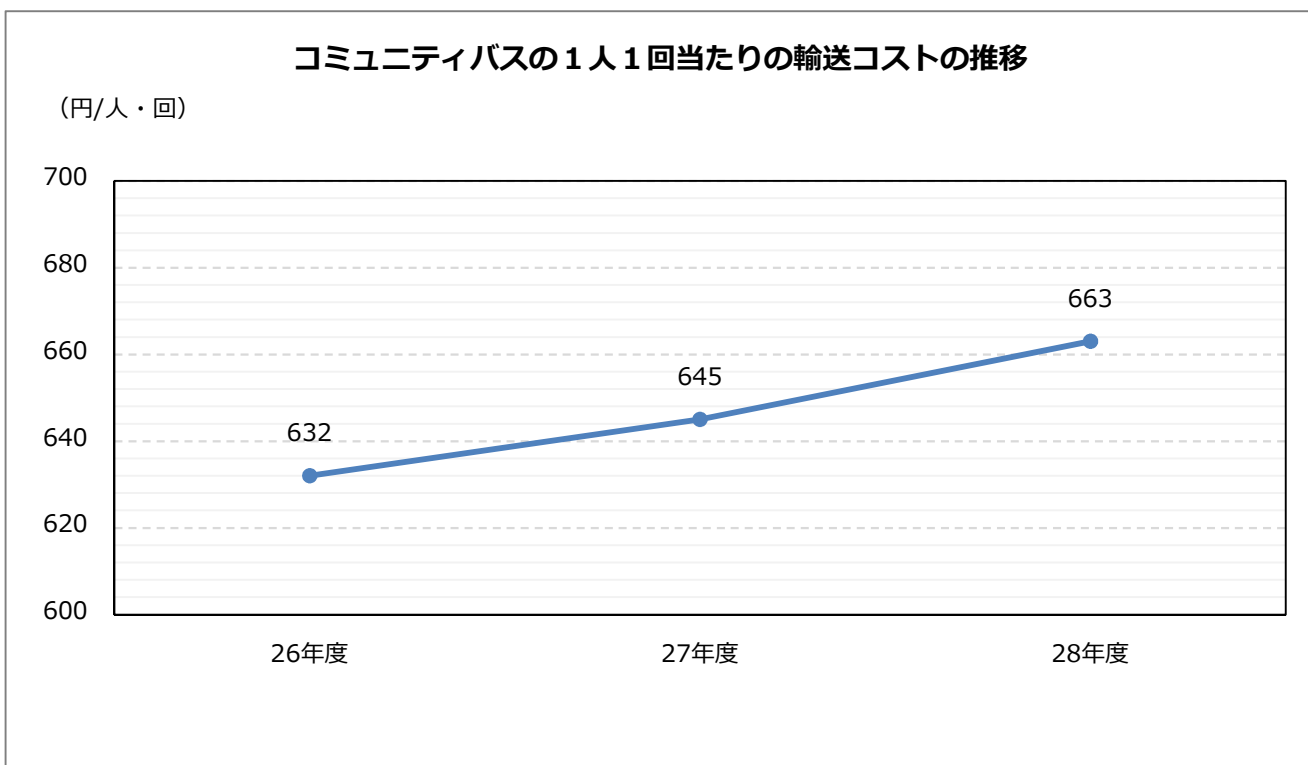
コミュニティバスの1乗車当たりの運賃は、均一運賃が6割以上を占めている。

運賃の種別毎に収支率を集計した結果、均一運賃制に比べて、ゾーン制・対距離制運賃を採用している場合の方が収支率が高い傾向にある。



⑥ 1人1回当たりの輸送コスト

平成28年度のコミュニティバスの1人1回当たりの輸送コストは、663円/人・回で、上昇傾向となっている。



⑦ 経費負担の内訳

コミュニティバスの運行経費の多くは公的負担により賄われており、市町村・県・国による負担額を合わせると8割弱となっている。

